

【重要語彙】

- 1) 正式(な)
- 2) N...(お)なじみ／V...なじむ
- 3) 梅雨
- 4) 雨季 * 乾季
- 5) 極東(地域)
- 6) 例年
- 7) 梅雨前線
- 8) 中止(する)
- 9) 延期(する)
- 10) 延長(する)
- 11) 雷
- 12) ～の差
- 13) 気候
- 14) カビ(が生える)
- 15) ばいきん
- 16) 由来
- 17) ～(という)説
- 18) ひょう
- 19) 体感(する)
- 20) 記憶(する)

【重要文法】

- 1) ～と言えば... ...雨と言えば、外国のみなさんは傘をささない。
- 2) ～ほど(の)...じゃない ...傘をさすほどの長さ(時間／距離)じゃない。

【お役立ちフレーズ】

- 1) そう理解しています
- 2) 念のため、～(といた)ほうがいいよ。
- 3) 食べごろです
- 4) と言う(言います)と？
- 5) カラッと晴れる

N: どうもこんにちは！

Cotoラジオをお聞きいただきましてありがとうございます。

Cotoでレッスンしている学習者の皆様そして世界中の日本語学習者の皆様こんにちは！
お元気でしょうか！？

日本で一番スポーツとビールが好きな日本語教師Nagaiです。

学校で、もし会ったら、「ハローMr.Nagai」と声をかけてください！

どうぞよろしくお願いします！

こちらのプログラムでは、日本のニュースや生活の中の話題について、できるだけ簡単な日本語を使って、できるだけナチュラルな話し方とスピードで先生たちといっしょに会話をしていきます。

日本語の会話が上手に聞き取れない！！くやしい！という方はぜひ、楽しいリスニングのテキストだと思って、聞いてみてください。

ちょ〜っと語彙は難しいかもしれませんが、途中で先生が説明してくれる時間もあるので、リラックスして最後までお聞きください！

N: さて、今日も私といっしょにお話してくれるのは正式にもうofficialアシスタント確定ですね!!

A: はい！

N: 麻布校レッスンでおなじみ、左先生です！

A: よろしくお願いまーす！

N: はい、よろしくお願いします。

いきなりですが質問です！

日本人が、一番好きな話題って何だと思いますか？

よくする話題！ Topic！

A: やっぱり仕事のことでしょうか、最近どう？忙しい？とか。

それと、日本には祝日も多いので、次の連休何する？とか。

あ、あと年をとると病院、病気、薬の話題も多いかなあ。

そして、何と言っても天気ですね。

「おはようございます」のあいさつとセットになっている状態です。

N: そうですね。今日もさっき「雨ですね〜／暑いですね〜」って二人で話していたんですが、やはり「天気」でしょう。

学生から質問されたりしませんか？

どうして日本人は毎日天気の話ば〜っかりするの？...って。

A: そうですね、聞かれること、多いです。そんなときは、日本には四季と言って、4つのはっ

きりと区別がある季節があるから、そのときどきで天気は話題になりやすいし、俳句みたいな文化とも関係があるのでしょうね、という話をしています。

N: うん、海外ではどんな話題があいさつとセットになってるか、先生、ご存じですか？ なにか聞いたことがありますか？

A: イギリスでも天気の話はよくするって言ってました。
でも天気予報の話はしないらしいですよ。いつも結局「雨だから！」だそうです。あと私の先祖のルーツは中国なんですけど、中国だとやっぱり二言目には「ごはん食べた？」ですね。
あ、質問されるといえば、あとは、やっぱり「梅雨」についてでしょうか。
あれは「Rainy Season」、「雨季」とは何が違うのか？って。「梅雨」と「雨季」の違い。

N: 「梅雨」ね！
えっと、今年は、例年より4日ほど遅い梅雨入りと発表。
...みたいな、先々週くらいかな。ニュースで言ってましたが。

A: ね～、今年は遅いってよくニュースで言ってますね～。
基本的に「梅雨」は「日本の雨季」のことですね。

N: はい、そうですね。日本も東アジアの国ですから、5月から10月に 雨がよく降ります。でもその東アジアの中でも、いちばん東！
日本がある場所は極東と言います。
このエリアは、6月～7月に、北のオホーツク海からくる冷たい風と南から、太平洋のほうから温かい風が吹くんですが、本当にちょうど日本の上でぶつかるんですよ。

A: はい、それが「梅雨(ばいう)前線」Baiu-frontですね。
雨がたくさん降る理由です。

N: なので、「梅雨」は「雨季」の日本だけの特別な言い方だと覚えてほしいですね。
まあ、梅雨が早くくるのも嫌ですが...遅いのも嫌ですね...。
夏はいろんなイベントが外で行われますから、延期になったり中止になったりするので本当に困ります...

A: はい、それでは言葉を説明しましょう！
「中止」は...続けることができなくなったイベントを、ストップしてから、リ・スケジュールしない時。
「延期」は...リ・スケジュールする時に使います。
ちなみに、「延長」は...終わる時間が、変わることです。
「時間が延びる」とも言いますよ。「延長」と「延期」音が似ていますが違う意味なので、使い方に気を付けましょう！

A:あと、雨と言えば、外国のみなさんは傘をささない！
これは本当に文化の差を感じます。

N:本当にこれは日本語教師をやっていると、1st Dayに気づくことかも しれません。「どうしたの！？びしょびしょですけど！」って。
どうしてあまり傘をささないか、先生聞いたことがありますか？

A:はい、あります。雨に濡れることを、気にしない、大したことがないと思ってる人が多いみたい。そして単にめんどくさい。
それから、これはタイ人の女性から聞いたんですが、タイでは男の人のほうが傘を使わない人が多くて、その理由は「かっこつけている」からだそうです、彼女が言うには。
「かささす」のがかっこ悪い、「俺は傘なんてささなくても平気なんだ」みたいな、マッチョイズムでしょうか。
あと、特にヨーロッパの人は、「すぐ止むから問題ない」、という人 が多いですね。傘をさすほどの、長い時間じゃないですと言いますね。

N:私もそれ、聞いたことがあります！
はい。気候の差がいろいろな文化の差を生んでいますね。
僕は文化の差イコール気候の差と理解しています。

A:気候...ですね。「気候」と「天気」の違いを説明しましょうか。
「天気」...という言葉はまず、「晴れ、雨、曇り、雪」というその日のconditionに対して「いい、わるい、暑い、暖かい、涼しい、寒い」という、私たちが感じる気持ちと一緒に使う空のconditionのことで、「気候」...というのは、実際に、そのエリアは季節によってどんな「天気」が多いのか、「天気」にどんな変化があるのかを知っておくための言葉です...かね。

N:はい、例えば、日本とスウェーデンの今日の天気は同じかもしれませんが、気候は全然違う...という使い分けです。
私の国はほとんど毎日雨が降るけど、そんなに強くないし長く続かない、ちょっと降ったら、またちょっと止んで、またちょっと降る...って学生はよく言うんですよ。
だから傘をささないという文化が生まれるんですよ。

A:はい、そうですね。
でもみなさん、本当に、気を付けてください！！

N:そう！ あの、日本の、梅雨に降る雨は、すぐ止みませんよ！
もうね、ずーっと長ーく降り続きます。1時間とかじゃなくて、1日、2日ずっとです。
だから、念のため、傘は毎日持っていたほうがいいと思います。
これも、日本に住むために大切な文化だと思います！

A:念のため...は、そうならないかもしれないけど、もしそうなっても困らないように、そのための準備として...という意味で使います。よくアドバイスする時に使うので、「～たほ

うが いいよ」とか「～しておいたら？」と一緒に使ってみましょう！

N: ね、全然やまなくても困らないように、1人だけびしょびしょにならないように、念のため傘を持ってでかけるようにしてください！

あの、濡れた服とか、靴とか、そのままにしておくと、「カビ」がMoldが生えるかもしれませんから。

A: はい、カビがたくさん生えるシーズンですからね。
気を付けましょう～。

N: ちなみに、「カビ」は「黴菌」なので、「黴菌」がたくさん増えてしまう雨というのが、「梅雨(ばいう)」という名前の由来だって言われることもあるそうです。なんか...この説はちょっと嫌ですね。

A: 「由来」...ですね。説明しますと、今の形や名前になったもとの理由や原材料のことを言います。例えば...「東京の名前の由来は、京都の東に作った町だから」とか「植物由来のクリーンエネルギー」とか。

あと、「説」...も簡単に説明すると、過去に起きたことの理由として「正しい答え」かはわからない、でも、もしかしたら、そうかもしれないという理由の1つのことを言います。

だから、私も「ばい菌説」はちょっと...

やっぱり、「梅の実が、食べごろになる、季節に降る雨」という説を信じたいです！

N: うん、ちょっと残念ですよ...なんかリアルすぎます(笑)

あ、あと、まあこれは文化の差ということではないかもしれませんが、雨の名前とか、雨の音、さっきのびしょびしょもそうですけど、オノマトペ！これが、、、これがまた外国のみなさんを苦しめますよね～。

A: そうですね。ポツ...ポツ...から始まって...

N: ね、それが、パラ...パラ...になり...

A: はい、そしてザー...ザー...と強くなって...

N: それが傘に当たるとバリバリバリバリッ！ボトボトボトッ！

A: まあ、ボトボトボトまではあんまり聞いたことないですけど(笑)

それ、傘やぶけてませんか(笑)

「ひょう」みたい！あの氷になった雨！

N: あの、「となりのトトロ」の...

A: ジブリアニメの？

N: はい、あのトトロと一緒にさつきがお父さんのバス待ってる時の傘に当たる音です。

A: あー...はいはい。...(一__一)

N: 今あの一...みなさんわかりますかね。
オノマトペで言うと、あれです、"しーーん"です。

A: 「しーん」...は、話している人が...

N: それ、説明しますか！？その言葉、説明いらないんじゃないかな？

A: いえ、大事なオノマトペなので。念のために。

N: そうですか？ そんなに困らないですよ。

A: 「しーん」...は、話している人が...あまりおもしろくないことを言ったときに...

N: 面白くない！...限定！？じゃないですよ。
まあそういう説もありますけど。

A: あ、静かになったときのオノマトペですね。

N: そうですね。その説明がいいですね。静かなのに、音を付ける！
これがすごいんですよ。

A: 面白くないことを言って、笑い声が消えて、静かになった時。

N: うん、これはやめましょう！

A: そう、「しーん」は「手塚治虫」というマンガ家が、初めて文字にして書いたと言われているね～。すごい発明ですよ。

N: 「しーん」詳しいですね！
えーっと...、そうオノマトペ！
これは、日本語の中でも学生が覚えられないというカテゴリーBest3ですよ。先生はどうですか、そんな話、聞きますか？

A: 確かにオノマトペは、覚えられないという人が多いですね。あきらめていない人も多い。
オノマトペって、日本では難しい言葉がわからない子どものしつけや教育のために、使うことが多いという話を、最近本で読みました。
だから幼稚園の先生たちはオノマトペマスターらしいですよ。
そうやって音と、意味が結びつくのは日本人にとっては子どものときだから、大人になって外国語として覚えるのはやっぱり大変だと思います。

学生には難しいオノマトペですけど、「ぶらぶらする」は好きだって人は多いですね、なぜか。
他のも、クラスの中で例文を出して覚えましょうね～！
...と言っても大変ですよ。

N:そうですね。あの「頭が痛い」は本当にそのいい例です。

A:はい、ずきずき？ ちくちく？ がんがん？

N:はい、それぞれ！
僕、学生によく言うんですけど、この梅雨は、チャンスだと。

A:ほう、と言いますと??

N:つまり！この梅雨の季節は、カビみたいに、本当にたくさん出てくるオノマトペを、体感しながら覚えるチャンスなんですよ！
体感して覚える、そう、エピソードとして記憶に残すチャンス！

A:あ～なるほど。それはそうかもしれません。
しかも、日本人が好きな天気の話題ですしね～。役に立つ！

N:そうなんですよ！毎日使えるチャンスなんです！
先生ちょっとまたモデル会話やってみましょうか。

A:はい。いいですよ！

N:あ、おはようございます先生～！今日も雨ですね～。

A:あ、おはようございます。そうですね～。毎日雨ですね～。
ジョンさん...結構、濡れてますね。

N:駅に着いた時はポツポツだったので、走ってきたんですけど、学校に来る途中でザーザーになってしまって...。
靴の中もぐちゃぐちゃなんです。

A:そうですか...。
ジョンさん、ちょっと...、エアコン、寒いですか？
ブルブル震えてますけど。ブルブルブルって。

N:ああ、先生、ちょっと止めてもらってもいいですか？
このままだとスマホみたいになっちゃうので...
ブルブル、ブルブル。って

A:しーーーーん。

N: あ、あの、しーんは言わないでしょ！ 普通、会話で！
それは体感させなくていいんですよ！

A: ま、こんな感じですかね～！

N: ええ、まあ最後ちょっとよくないですけど...こんな感じですよ。
とにかく、梅雨の季節はだいたい1か月くらい続くので、オノマトペを覚えるいい練習の
シーズンだと思って、雨の音をよく聞いて楽しんでみてはいかがでしょう！？

A: はい、そして、その後は多分「カラッ」と晴れるので、気分も「すっきり」過ごせると
思います！

N: ああ、さすが！いいっすね～！それはぜひ体感してほしいです！！
はい。
ということでCotoラジオ、本日もお時間となりました。
本日もサポートいただきました、左先生ありがとうございます！

A: はい、ありがとうございました。

N/A: それでは、また、次回～！！